

団体名 山口県釣り団体協議会 (周南市)

代表者名	岡村 晴義	団体の目的 ・山口県の釣り場環境の整備保全および遊漁としての釣りの健全な普及、発展を図る
構成員数	190人	
設立	S46年	
問い合わせ先	☎090-8243-4335 (柳原)	

事業名 稚魚放流・海辺清掃活動

- 事業の目的**
- ・光市の室積海岸で人工ゴミや、カキパイプを回収する
 - ・きれいになった海岸で稚魚を放流することにより、海洋環境の保全の重要性を児童に理解してもらう

- 事業の内容**
- ・室積海岸清掃・稚魚放流イベントの実施
 日時：10月18日(木) 10:00～ 場所：室積海岸(光市)
 内容：室積小学校4年生、光市や「瀬戸内の海を美しくする会」と協働して、海辺の清掃とゴミの回収及び分別を実施。その後、キジハタの稚魚を児童とともに海に放流した
 参加者：約65人

- 事業の成果**
- ・個々の児童が積極的に収集活動に参加していた
 - ・児童は、校区内の海岸のゴミの実態を理解できた
 - ・稚魚放流・海辺清掃活動を通して、海洋環境の保全の重要性を児童に理解してもらえた

活動現場レポート！ 室積海岸清掃・稚魚放流 (H30.10.18/光市室積海岸)

この日は、光市の室積海岸で、室積小学校4年生が参加し、海岸清掃と環境学習、稚魚放流が行われました。

海岸清掃では、少人数の班に分かれ、各班には大人が付いて安全に留意しながらゴミを回収し、その後分別をされていました。

清掃の後、環境学習が行われ、瀬戸内の海を美しくする会の藤井会長が、約50枚のパネルで世界の河川や海の汚染の現状と、それに対する各地域での環境活動の実例を紹介され、子ども達は熱心にノートを取っていました。

最後に、下松市栽培漁業センターから運び込まれた、7センチ程度のキジハタ(2,500匹)をみんなで放流しました。

児童にとって、環境保全の重要性や、漁業資源の保護が十分認識できた活動となっていました。



ゴミの回収



キジハタの稚魚を放流

